

グループホーム わかば

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取組んで いきたい 項目	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	14	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	認知症高齢者グループホームとしての運営理念を掲げ、方針や目標を具体化し明示している。	0	運営理念を玄関に掲示している。
		2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営理念を始業時に声を出して唱和し職員個々の自覚を促している。 日常的に職員間であり方について語り合っている。	0	事務所内に掲示し、日常的に確認できるようにしている。
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	玄関に掲示し家族や見学者に説明している。	0	地域のかたがたを交えた運営推進会議を3ヶ月に1回開催している。その際、ホームの運営理念や活動内容をお話している。
		2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	3	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	個人病院の敷地内に併設されており、外来患者の方々の通院や近所の子供の出入りも多い。入居者の方との散歩途中に出会ったときには気軽に挨拶をしお話をしている。また、行事の時には近隣の料理屋さんから注文したりしている。	1	地域のサークルの情報などを把握して、入居者の方に趣味活動を教えていただける方にきていただけるよう働きかけていく。地域の方への行事の案内や気軽に立ち寄りいただけるようなお知らせをおこなっていききたい。
	5	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣の小学校の運動会などには見学参加したりしている。踊りなどのサークルの方々が来てくださったりしているが、まだ働きかけが不十分である。	1	地域行事や活動サークルの情報を把握して交流の機会をふやしていく。地域自治会行事への参加を増やしていきたい。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づき運営	2 支地 え域 合 と い の	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域との交流が不足している状態であり、具体的な取組を検討中である。	1	敷地内駐車場を利用するなどして、例えば「夏祭り」などに地域の方に呼びかけ、共に楽しみ、なおかつホームを理解していただけるような行事などを通じて、地域の多くの方と交流していきたい。
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	5	
		7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	原点にもどり、介護保険により運営されていることを再認識するとともに、外部評価をうけることにより改善点を見つけ、またそれを改善できるよう職員間で話し合い、実践していくようにしている。	1	改善できた点を評価し、結果も記録していく。
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催し、ホームの活動内容を報告したり、委員の質問や疑問に答え、また提案を参考にしたりしている。	1	運営推進会議で出された意見をミーティングなどの職員間レベルで議論する機会を多くし、ホーム運営に役立たせていく。
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	現在のところ不十分である。	1	日常的な連携の在り方を検討していく。
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	利用者や家族に情報提供し、必要に応じて相談をおこなっている。職員の研修機会を設けている。	1	職員が学ぶ機会を増やしていきたい、また研修に参加した職員の報告会を開催し、全職員の理解を深めていきたい。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待について、その意味・防止について職員間で日常的に話し合っている。また、施設内研修も実施している。	1	利用者の方の異変については申し送り等職員間で話し合い気づくようにしている。研修会などの学びの機会に積極的に参加していく。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	3	
理念に基づく運営	4 理念を実践するための体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明が出来るようパンフレットなどを活用し平易で分かりやすく説明している。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	一面的理解に陥らないよう、職員ミーティングなどでよく話し合い、利用者の方の思いを汲み取るようにし、そして、運営のあり方を日常的に検討するようにしている。	1	今後もカンファレンスやミーティングを通じて、全職員の認知症の理解を深められるように取り組んでいきたい。
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族面会時に、利用者の方のその時々様子を伝え、また家族から近況を聞くようにしている。金銭管理については、月々の収支報告書や領収書を渡し説明している。月1回の「わかば便り」にてホームのことが分かっていただけよう情報提供をしている。	0	
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情担当および窓口を設置して、家族の意見を受け止めている、また3ヶ月に1回家族会を開催し、さまざまな問題を話し合える場を持っている。	1	より多くの参加者が得られ、自由に何でも話し合えるよう魅力的な会にしていきたい。
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングを月1回開催し、運営上の諸問題を運営に反映させるようにしている。	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	出来る限り全職員が参加できるように配慮して、ミーティングで話し合えるようにしている。会議場所の関係・勤務の関係で参加できない夜勤者などについては議事録を説明するなど職員間の意思統一を図っている。	1	引き続きミーティングで意見を出し合い、状況の変化、要望に柔軟な対応ができるように努めていきたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4 理 念 め を の 実 体 践 制 す	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動は必要最小限度とどめ、利用者のなじみを阻害しないように勤めている。また、やむを得ぬ退職にあたっては1ヶ月前に申し出てもらい、その間に利用者の方が、動揺しないような穏やかな別れが出来るよう配慮している、また当該職員にはその旨指導している。	0	
		5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)	自己評価6項目・外部評価4項目	3	
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員採用にあたっては性別・年齢にとらわれず有用な人材を採用している。また、必要に応じた人事異動を通じて職場の活性化を図ると共に、適材適所の職員配置を心がけている。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	毎朝のミーティングで運営理念を全員で唱和し、人権意識を日常的に喚起している。また、職場内研修によって人権研修を実施している。	1	継続的に職場内研修を実施していく。
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の自己研修や自己学習を基本としつつ、ジョブトレーニングや職場レベルの研修会の開催また外部研修への派遣を行っている。	0	
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	関連住宅介護支援事業所や関連病院相談室と情報交換を行っている。お便りを通じて相互の情報交換をしている。他施設の行事などに職員が見学したりしている。職員間の交流は活発に行われている。	1	交流機会を増やしより強いネットワークを作っていきたい。
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	運営責任者が随時個別に話し合ったり、またミーティングの席上で職員個々が抱える問題を把握できるようにしている。同時に、ストレスを生じさせないにこやかに働ける職場環境について、常に職員が問題意識を持って行動できるように配慮している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	意欲や勤務実績に応じて職務を担当できるようにしている。また、それにに応じて研修機会を提供している。	1	職員の意見、提案が反映していけるようこれからも努めていきたい。
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	5	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価4項目・外部評価1項目	3	
	1 相 談 か ら 利 用 に 至 る ま で の 関 係 づ く り と そ の 対 応	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	初期面接において、ホームを見学していただき、そして本氏が負担にならない程度に穏やかに話をし受け止めている。不十分な場合は、再度面接を行うこともある。主治医意見書や認定情報また関連諸機関からの情報収集も心がけている。	1	認知症の方の心理やその他医療的なことをより深く理解していきたい。
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族においては、自らの親を施設に入所させることの戸惑いや不安が多く、単に施設説明をするのではなく、その情緒的な側面を含めて相談面接を行うことが必要であると配慮・努力している。	1	相談援助技術・方法についてより深く習得していきたい。
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期面接において、話し合いながら基本情報の確認を行いつつ、本氏や家族の思いを穏やかに組み取るようにしている。また、当ホームで「出来ること・出来ないこと」を伝えることも重要であると考えている。	1	介護保険制度についてより深く理解していきたい。
		28 外 部 評 価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所1ヶ月間は暫定期間とし、見守りと情報収集を中心にアセスメントをおこない、基本情報の補足と本氏理解に努めている。環境作りとしては、なじみの家具や人形・写真を持ち込んでもらい、安心できる雰囲気作りを心がけている。また、出来るだけ家族面会も行ってもらい、スムーズな生活が出来るよう配慮努力している。	0	入所への不安のある方には体験入所も行っている
2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)			自己評価6項目・外部評価1項目	2		
係り2 継続 へ の ま で の 支 援	29 外 部 評 価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の方の昔話に耳を傾け、喜びや悲しみや自慢話と共に笑ったり驚いたりしている。お手伝いを通じて一緒に作業したり、レクリエーションを通じて共に楽しい時間を過ごしている。	0	お手伝いの声がけ等は今後も続け、感謝の意を伝え、利用者の方の生き生きとした生活を支援している。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の方がいつでも来れるようなホームの雰囲気作り而努力している。	1	家族の方が思ったことを自由に言葉にさせていただけるような関係を作っていきたい。
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族の方の面会時には、職員も共に話をしたりして楽しい時間を持っていただけるよう配慮している。	0	それぞれの意向やお話を良く聞き、必要なときには橋渡しになれるよう努めている。
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	時には通われていたデイケアにお連れしたり、以前親しくされていた方には近くに来られたら立ち寄ってくださるようお願いしている。	0	今後も継続していく。
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	レクリエーションやお手伝いを職員も交えながら共に行えるような環境を作り、お互いがかかわり認め合えるような関係作りの橋渡しをしている。	1	職員が意図的にかかわって、認め合う・支えあう関係が作れるよう、今後も配慮していく。
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院期間が長くなられて、やむを得ず退所された方には、退院時に再入所していただくような関係作りをしている。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価17項目・外部評価6項目	7	
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価3項目・外部評価1項目	1	
	1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	認知症介護研修センターのシートやその他のアセスメントシートを活用して、利用者の方をより深く理解するように努めている。	0	入所の際、家族より利用者の方の暮らしの情報をえたり、また本氏からは毎日の会話の中から情報を得ている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントシートの作成においては、家族の方の協力を得ている。また、利用者の方が使い慣れた物や思い出の写真・品物を持ってきていただき、馴染のある部屋作りが出来るよう配慮している。	1	家族の方との良好な関係作りを通じて、家族と共に、利用者の方により多くの利益がもたらせるよう努めていきたい。
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一日の生活リズムや過ごし方は一人一人が異なっていることを当然のことと考え、職員個々の視点で見出した点について、あらゆる機会を通じて全職員で検討し、統一された対応が出来るようにしている。月1回のミーティングで評価もやっている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)		自己評価3項目・外部評価2項目	1	
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本氏や家族の方の意見・要望を取り入れ、担当者会議を開催して、利用者のかたの特性に合わせた介護計画を作成している。	0	
		39	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	モニタリング・担当者会議を定期的に行い、必要に応じて介護計画の見直しを行っている。また、急変などが生じた場合には随時、計画の修正を行っている。	1	より適切なアセスメントが行え、変化に柔軟に対応できるよう職場力を高めていきたい。
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録には、利用者の方の日々の様子が分かるよう、出来るだけ具体的に記録を行っている。また、あらゆる機会（申し送り・申し送りノート・ミーティングなど）を通じて、情報の共有に努めている。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)		自己評価1項目・外部評価1項目	1	
	3 柔軟な支援	41	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	買い物や散歩、美容室など個々の要望に応じてスタッフ付き添いで一緒に行っている。	1	できるだけ要望に応じていけるよう支援したい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	4	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	年2回の消防避難訓練をおこなったり、民生委員の方の運営委員会への参加および情報交換、ボランティアの受け入れなど行っている。	1	今後も協力をお願いしながら地域交流を図っていきたい。
		43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	居宅療養管理指導を活用して口腔ケアのサービスを受け、またアドバイスを得ている。本体事業の医業からは、医療的ケアのあり方、急変時の対応のあり方についてアドバイスを得たりしている。	1	インフォーマルな社会資源をより多く開拓していきたい。
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に出席していただいて、情報交換を行っている。	1	会議以外でも連絡を取り合い、情報交換や助言をもらえるようにしていきたい。
		45 外部 評価 21	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本体医院を中心にして医療的ケアを受けながら、必要に応じて他の専門医の紹介を行い、適切な医療を受けられるように配慮している。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	本体医院と連携しアドバイスや指導を受けながら支援している。	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	本体医院の看護師の協力を得て、日常的な医療ケアのあり方や観察の仕方また急変時の対応のあり方などについてアドバイスや指導を得ている。	0	常に連絡がとれるようにしている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	近隣の総合病院と協力関係を結び、救急搬送時の対応をお願いしている。また、入院時には当該病院の居宅介護支援事業所や医療相談室との情報交換もおこない、定期的にお見舞いに行き、看護師や家族の方との情報交換も行っている。	0	
		49 外部評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者の方の状態を家族に報告・相談し、また主治医とも相談しながら、今後の推移について予測を立て、職員間で対応のあり方について検討している。	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	家族の思いを把握し、どの時点までホームとして支援できるのか、また家族がどの時点までの支援を希望しているのか個別に話している。家族としては母体が医院であり隣接していることに安心感をもたれている。	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	現在までのところ、入院以外の住み替えの例はない。関係者間での話し合いや情報交換はしている。	1	今後他の施設への住み替えがあった時には十分な話し合いや情報交換を行っていきたい。
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目	10	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価30項目・外部評価9項目	6	
		52 外部評価 23	(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
			プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	トイレ介助の際は、排泄中は一度その場をはなれたり、人に聞かれたくない利用者の方が思われることは居室で話すなどの配慮を職員全員で行っている。また、関連諸機関への情報提供に当たっては、同意書で確認した範囲にとどめている。	0	
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者の方と話し合いながら決めていくことを基本として、意思表示の難しい利用者の方には、複数の選択肢(絵の活用、現物見本)の中から選んでいただくようにしている。それでも、思いの不明な場合は、職員間でよく協議するようにしている。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	外出やレクリエーションなど声掛けをおこない参加を促しているが、強制的に参加していただくのではなく、本氏の思いや体調に合わせて支援している。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	2	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理容・美容室への送り迎えを行ったり、希望される方にはホーム内で毛染めを行ったりしている。	1	今後も希望に応えていけるように支援していきたい。
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	準備や後片付けなど本氏が出来る範囲で手伝っていただき一緒に行っている。また、食事時間はゆるやかに設定し、本氏の気持ちで自由に食べれるよう配慮している。また、検食をかねて職員が共に食事し雰囲気作りに配慮している。	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	皆様の好きなもの好まれないもの、また食べやすさを把握し、喜んで食べていただけるよう支援している。	1	食事やおやつなどの嗜好調査を定期的に行っていききたい。
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のバターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	夜間オムツを使用されている方も昼間は布パンツとパッドを使用し、定時的に声がけし誘導している。	0	排泄記録表にて排泄状況について全職員で把握するようにしている。
59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴できる体制をとっており、本氏の気分や体調に応じて入浴していただけるよう支援している。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人一人のペースに合わせて自由に行わせている。また、居室は使い慣れた家具、装飾品、写真などで安心していただけるよう配慮している。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	2	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食器拭きや洗濯物たたみなどの家事協力をしていただいている。歌や散歩・手芸など自由に過ごしていただくことを基本にして、日常におおらかに過ごしていただけるよう配慮している。誕生日にはおやつの時間を利用して全員でお祝いしている。	1	地域の方の協力をえて多様な思いや好みに応えられるようにしていきたい。
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	全員ではないが一部の利用者の方がお金を所持され、それで買い物をされたりしている。	1	一部の利用者の方だけでなく買い物の際は一人お一人お金を所持し、支払いしていただけるように支援していきたい。
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物など希望に応じて職員と一緒に外出している。特に散歩は日常的に行っている。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	おおよそ月に1回の割合であるが、外食や買い物などに出かけている。家族の面会も多く、機会を見つけては本氏と共に外出されている。	0	
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に応じてホーム内の電話を使用していただいている。携帯電話を持っておられる方もある。手紙を希望される方もあり職員が宛名書きなど対応配慮している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	友人や家族などいつでも来所していただいております。来所持にはソファや居室に案内し、またお茶の接待などでくつろいでいただけるよう配慮している。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	2	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	運営者・職員間で拘束をしないケアについて話し合いをおこなっており、拘束のないケアに取り組んでいる。	0		
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠していない。利用者の方の中には玄関先などにいられ天気の様子をうかがったり、花を見られている方もおられる。	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者の方の状態をよく把握し見守りを徹底し、特に夜間は巡回を行い安全確認を行っている。その結果については記録に記入している。	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個々の利用者の方の状態に応じて、本氏や家族の了解の下に保管・管理を行っている。	0	必要に応じ、見守りにて使用していただく。	
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	リスクマネジメントなどの研修に行った職員による勉強会やマニュアルを配布するなど、予測しうる事故等について職員間で話し合い防止策を取っている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	研修に行ったり、マニュアルを配布し緊急時の対応に備えている。日ごろ、オンザジョブトレーニングとして、対応に習熟している職員のアドバイスをできるようにしている。	1	緊急時対応の研修を行っていきたい。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	利用者の方も含めて避難訓練を実施している。地域の方々の協力を得られるような働きかけは出来ていない。	1	当該自治会などに、運営推進会議を通じて地域防災活動と関係が持てるよう働きかけていきたい。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族面会時など随時に、利用者の方近況をお知らせしている。特変時などには電話連絡により説明している。利用者の方や家族の希望を尊重したケアを行っている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	ささいな変化でも記録化し、職員間で連絡ノート申し送りや情報を共有し話し合っている。病院が母体であり、異変があれば随時気軽に相談や受診が出来る。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診時は付き添い同行し、主治医の指示の下服薬管理している。服薬に当たっては、個々人の状況に応じて、服薬確認や手渡し服薬介助などおこなっている。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分補給を促したり牛乳を飲んでいただいたりして、自然な排便を心がけている。それでも排便がない日が続く傾向にある利用者の方については、主治医に相談し支持を得ると共に薬剤処方をしていただいている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアの声かけ、介助の必要な方への口腔ケア介助などにより清潔を保持している。週1回の居宅療養管理指導で往診・ケアサービスを受けていただいている。同時に、職員も事業者から情報提供やアドバイスを得ている。	0	
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士による予定献立表に基づいて調理を行い、摂取量も記録化している。食事の偏りのある利用者の方には、見守り適宜声かけしているが無理強いはいしない。水分摂取は居室内に一人一人お茶いれをもたれており、好きなききに飲まれている。	0	水分摂取の少ない方には声かけを行い、水分摂取を促している。
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	手洗い・うがいを実施している。感染症マニュアルに沿って対応を行っている。外来者にも入り口にポスター掲示し協力をお願いしている。	0	感染予防と対応のマニュアルがあり、勉強会も行い実行している。
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板や布巾等は一日1回必ず漂白し、調理用具等も清潔に保管している。食材は当日分を毎朝配達してもらい使用している。	0	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)		自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	4	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)		自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	2	
	2 生活の環境づくり	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りできるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先には花を育てており、色とりどりの花が楽しめるような環境作りに配慮している。	0	
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テレビの音や照明については、その時々調節している。食堂には季節の花を飾ったり、冬にはコタツを活用している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間にはテーブル・ソファ・和室を配置し、自由に活用したいにしている。新聞を読む、手芸をする、ごろ寝する、談話する、洗濯物たたみをするなど。	1	和室が十分に活用されていないので、お茶を飲んだり、お話ししたりゆっくりくつろげるよう配慮していきたい。	
		85	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染のものや思い出のもの、また中には仏壇を置かれている利用者の方もいる。気持ちよく過ごせるよう配慮している。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	清掃時には窓を開けるなど換気に配慮している。トイレ・玄関など臭いのこもるところには芳香剤を置くなどしている。エアコンは外気温との兼ね合いで、しのぎやすい時は窓を開放するなど、適宜調節している。リビングとトイレに温度差がある。	1	リビングとトイレに温度差が生じないように扇風機や暖房機を活用するなどの配慮をしていきたい。	
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	2	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	内部はバリアフリーになっており段差はない。浴室にはほんの少し段差があり見守り配慮している。共用空間には手すりがあり移動時の安全確保としている。ベッドには手すりをつけ起居動作に支障がないよう配慮している。	1	これから身体機能が低下していくことが予想され、その状態に応じた工夫を、その都度に検討していきたい。	
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各居室には、好みの飾りや表札をつけ自室が分かりやすいようにしている。トイレ・風呂洗面所などポイントポイントに文字でお願いや注意書きをしている。	0		
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関先でお月見をしたり、駐車場の広いスペースを利用してお花見や夏祭り・花火などしている。	1	植物の管理は利用者の方と一緒にやって、共に楽しんで生きたい。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	該当番号	
サービスの成果に関する項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。